

## 令和7年度 第4回広陵町定例教育委員会 会議

### ○ 開会及び閉会

令和7年7月30日(水)  
同 日

午後 1時30分開会  
午後 3時03分閉会

開催場所: さわやかホール 4階 大会議室

### ○ 出席委員の議席番号、職名及び氏名

(教育長)植村佳央、1番委員:(教育長職務代理者)松井秀史、  
2番委員:岡野聡子、3番委員:臼井有香、4番委員:村田浩子

### 委員の他、会議に出席した者の職名及び氏名

|                  |        |
|------------------|--------|
| 教育振興部長           | 倉田 洋子  |
| 教育総務課長           | 梅本 和哉  |
| 教育総務課主幹          | 松本 哲知  |
| こどもまんなか部長        | 谷野 良隆  |
| こども課長            | 佐々木 計也 |
| こども政策課長          | 伊藤 哲   |
| 図書館長             | 尾藤 肇子  |
| 生涯学習課課長          | 岸本 延昭  |
| スポーツ振興課長         | 南 雄太郎  |
| 教育総務課指導主事        | 辻 博暢   |
| 教育総務課指導主事        | 富田 英明  |
| 教育総務課(学校支援室)指導主事 | 中本 絵美  |

### 議案(1) 後援名義使用許可申請について 「子ども未来応援講座」

**教育長** それでは議案の方に移らせていただきます。まず一つ目です。後援名義の使用許可申請について、「子ども未来応援講座」一般社団法人マイ・リングから申請が上がっております。教育総務課指導主事、説明をお願いします。

**教育総務課指導主事** はい。一般社団法人マイ・リングから「子ども未来応援講座」の申請が出ています。11ページをご覧ください。事業の概要は、子どもの可能性を広げるために脳科学を使った親子間コミュニケーションの話と子どもを応援するために将来必要なお金の話をする、ということです。目的は、親子間の理解を深め、子どもの才能を発見し、家庭での効果的なコミュニケーション方法を学ぶとともに、子育て世代の経済面の不安を解消するための知識を提供することで、参加者に心身ともに健康で笑顔あふれる家庭を目指してもらう、とのことです。参加対象者は0歳～13歳の子どもとその保護者で、定員は各回先着15組程度、開催日時は9月20日(土)10時から12時までと、9月24日(水)9時30分から11時30分までで参加費は無料です。開催場所は、9月20日はグリーンパレス、9月24日は河合町のまほろばホールです。14ページに収支予算書、15ページに役員名簿、16、17ページに配布予定のチラシ、18ページから20ページに臨時社員総会議事録、21ページから28ページにマイ・リングの定款、29ページから47ページには過去の開催実績等が添付されています。なお、マイ・リングからは5月に「キッズ・マネースクール お買い物大作戦」の申請が出ていまして、本資料の4、5ページにその内容が記載されています。以上です。ご審議よろしくをお願いします。

**教育長** ありがとうございます。今、説明をしていただきました。かなり資料をつけていた

だいておりますが、委員の皆様から何かご意見はございませんでしょうか。教育総務課指導主事、マイ・リングからは以前同じような申請はありましたか。

**教育総務課指導主事** 先ほども申しましたように5月に「キッズ・マネースクール お買い物大作戦」が出されておりまして、昨年度も同じような形で出されていたかと思います。今回会場が広陵町会場と河合町会場という形になっておりますので、河合町にも後援名義申請をされていて、先日、河合町の定例教育委員会で承認されたということを河合町の担当から聞かせていただきました。

**教育長** わかりました。ありがとうございます。河合町ではもう承認されたということです。委員の皆様どうでしょうか。よろしいですか。

**委員B** はい。勧誘さえなければ、全く問題ないかなと思います。

**教育長** ありがとうございます。他によろしいでしょうか。委員Aさん何かございますか。

**委員A** 代表の方の資格が子育て診断士、組織診断士、キッズマネースクール認定講師となっているのですが、この診断士の資格というのは、どこが認定した資格でしょうか。わかりますか。例えば、国の経済産業省とか厚生労働省の資格とかいうそういう背景がわからない。それがわかれば、より明確かなというふうに思いました。内容については、特に認定できないというものではないと思いますが、この一般社団法人というのがどういうものなのか私もよくわからないのですが。この法人を維持するためにどういうふうな収入があつて、どういうふうな形で活動を維持しておられるのか、その辺りを教えていただければありがたいです。

**教育長** 教育総務課指導主事、わかりますか。

**教育総務課指導主事** 最近、金融教育という形でキッズ・マネー・スクールというロゴが入っているチラシが多くなってきていると思うのですが、キッズ・マネー・スクールという組織の中で認定された講師、診断士ということで、組織が指名して各地で話をしているのではないかなと思います。この会場代等はキッズ・マネー・スクールが出しているということは聞いております。あとの詳細は聞いておりません。

**教育長** 細かい点はわからないんですけど、とりあえず承認ということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、一つ目の後援名義は承認をさせていただきます。

#### **議案（１）後援名義使用許可申請について 「さくらサーカス奈良公演ⅠN平城京跡」**

**教育長** 続いて、二つ目。別紙がございます。「さくらサーカス奈良公演ⅠN平城京跡」ですね。サーカスの公演ということになります。これは奈良県教育委員会全てに申請されていますね。詳しくは教育総務課指導主事、説明をお願いします。

**教育総務課指導主事** SAKURAPRODUCTION株式会社から「さくらサーカス奈良公演ⅠN平城京跡」の申請が出ております。別紙をご覧ください。事業の概要は、モナコ主宰の世界最高峰サーカス大会で金賞を受賞し、世界10カ国から集結したトップレベルのアーティストが織りなす感動的なパフォーマンスを行うということです。目的は、地域住民に質の高い文化芸術の機会を提供し、情操教育に貢献すること、奈良県内の児童福祉施設に通所・在籍している子どもたちを無料で招待する社会貢献活動を通じて、子どもたちの豊かな人間性の育成に寄与すること、平城宮跡という歴史的価値の高い場所での開催を通じ、地域活性化と観光振興に貢献すること、の3点です。実施日は令和7年11月15日（土）～令和8年3月8日（日）で、午後1時から午後9時までです。開催場所は奈良市三条大路4丁1-2の平城京跡特設会場で、対象者は奈良県内の子どもから大人まで全年齢ということです。参加費は1,000円から詳しくは2ページの下の方に書かれています。また、児童養護施設の子どもたちを無料招待することです。3ページ、4ページに収支予算書、5ページに役員名簿、6ページに参考として堺公演のチラシ、7ページから10ページにさくらサーカスの概要説明が、11ページから17ページSAKURAPRODUCTION株式会社の定款が添付されています。以上です。ご審議お

願います。

**教育長** これは県内の市町村全部に申請しているということですが、どこが承認したとか、そういうことはまだですね。

**教育総務課指導主事** 広陵町が一番早いと思います。

**教育長** どうでしょうか。委員の皆さんから何かご質問またご意見等がございましたらお願いします。

**教育総務課指導主事** すみません。6ページの堺公演のチラシには後援された市町名がたくさん掲載されています。こういうふうな形で奈良県でも申請を出しておるのかなと思います。

**教育長** ありがとうございます。何かご意見ございますでしょうか。

**委員A** よろしいですか。ちょっとネットで調べると、非常に内容的には良いようですね。ただ、混雑時、子どもたちが押し合いへし合いしたときの安全性の配慮ですね、そこをしっかりとできているかどうか。それは、確認した方がいいと思います。

**教育長** ありがとうございます。安全面の配慮についてこういうご意見があったということで、ちょっと知っておいてもらえばいいかなということですね。委員Bさん、よろしいですか。

**委員B** はい。大丈夫だと思います。規模が大きい取組ですし、ちゃんとされているのかなと思いますので、大丈夫だと思いました。

**教育長** はい、ありがとうございます。委員Cさん、どうでしょうか。

**委員C** いろいろ福祉への取組なども書かれていますし、問題はないと思います。

**教育長** 委員Dさんはどうですか。

**委員D** はい、大丈夫です。

**植村教育長** ありがとうございます。それでは、これについても承認ということでお願いします。議案については以上でございます。

続いてその他です。「70周年記念カルタ」の絵札候補選抜についてはt図書館長、説明をお願いします。

#### その他

**図書館長** 図書館では広陵町町制70周年記念イベントということで、町内の子どもにカルタの絵札を募集し、全部で264枚集まりました。その中から、読み札1つに1つの絵札を選抜していただいてカルタを仕上げたいと思っております。そこで、本日の資料の中から選んでいただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。資料につきましては、「あ」～「ん」までございまして、全部で46文字あります。その中で絵札もものすごく偏っておりまして、一つの文字で30枚近く応募があったものもありますし、1枚も出なかった文字もありました。1枚だけ応募があったものは、文章と合っていればその絵札を採用とさせていただきたいと考えております。たくさんあったものは、図書館職員である程度絞らせていただきました。プリントさせていただいている中から選んでいただけたらなと思っております。例えば、資料最初の「あ」という文字でしたら、10枚→3枚と書いてあるのは10枚の応募があつてその中から3枚に絞らせていただきましたということです。文章の方は矢印の右側が委員Bさんに「こういうふうに変えた方が」とご意見をいただき、変更させていただいた部分になります。

**委員B** 私の意見を取り入れてくださり、ありがとうございます。

**図書館長** とんでもないです。ありがとうございます。

**教育長** それでは委員の皆さん、申し訳ございませんが、それぞれ見ていただいて、複数あるものについては、どれが一番良いのか選んでいただいて○を付けてください。時間をとりますのでよろしくお願いいたします。

終わりましたでしょうか。図書館長、これは出してもらったらいいいのでしょうか。

**図書館長** いただいでよろしいでしょうか。

**教育長** 後で回収させていただきます。ありがとうございました。それでは、その他で他にございませんか。

子ども政策課長、先日のことを話してください。

**こども政策課長** 先日、7月26日に広陵町のこども計画策定に伴うワークショップを開催させていただきました。当日は18名の方に参加いただいております。参加者には教育長の挨拶の後、広陵町のこども計画についての説明、子どもの人権に関する話をさせていただきました。続いて、広陵町にまつわるクイズでアイスブレイクをし、子どもたちがリラックスした雰囲気の中で、また、チームの団結力を高められるような雰囲気を出すように努めて、ワークショップを始めさせていただきました。ワークショップの中では、広陵町の小学校4年生から22歳の方が参加され、その方々が日頃、学校あるいは学校以外で困っていることをそれぞれ付箋に書いていただきました。困りごとについては1人5枚以上など目標を設定して書いていただき、3つに分かれたグループの中でその付箋を見せ合って、それぞれのグループの中で共有していただきました。その後に、グループの中で類似した意見を集めて、それに対する問題点を書き出し、最終的に各グループがそれぞれ問題点を発表し、町に示していただいたという内容になっております。このワークショップは2回ございまして、来週8月2日にまたワークショップを開催させていただきます。学校での困りごとや学校以外での困りごとの解決策を皆さんに考えていただき、そこから、わくわくする広陵町、皆さんが理想とする広陵町にするためにどうしたらいいかというような話を進めてまいりまして、広陵町のためにいろいろな意見を出し合っていただくということを予定しております。これらのワークショップを受けて、出ました意見を子ども計画の中に反映させていくという作業を行っていき、パブリックコメントを経て、来年3月の議会に広陵町子ども計画として上程するという流れになっております。

なお、2回のワークショップの内容につきましては、教育委員の皆様方に改めて詳しくご報告させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

**教育長** ありがとうございました。こども課長、何かありますか。

**こども課長** 私から報告をさせていただきます。放課後子ども育成教室、いわゆる学童なんですけども、夏休み先週から入りまして利用状況を見ておりますけれども毎年夏休み人数が少なく、利用人数が少なくなるんですが、今年度につきましても大体登録者数の7割から7割5分、通常でしたら8割ぐらいまでいくのですが、1割ほど利用者が減っています。理由を聞いていますと、やはり旅行に行ったりとかおじいちゃんおばあちゃんのところに行ったりとかいうことで利用者が少なくなっているということです。熱い日中は、ちょっと遊びに行けない、外に出られないというストレスが溜まってこよかなと思うんですけど、そこら辺のところは屋内で実際に遊べる遊び等を工夫しながら、やっていきたいということです。

あと、民間学童の方ですが、放課後児童クラブみのり教室が7月1日から開始をいたしました。7月1日現在で62人の登録があるということです。今のところ保護者からの苦情等を聞いておりませんので、また現地を定期的に見に行きながらそこら辺の対応をしていきたいと思います。以上でございます。

**教育長** はい、ありがとうございます。スポーツ振興課長はどうですか。

**スポーツ振興課長** 8月2日土曜日、3日日曜日の1泊2日でスポーツ少年団の5、6年生の希望者を対象とした野外活動、キャンプ活動を行います。毎年行っておりますが、今年は国立曽爾高原青少年自然の家に行かせていただきます。参加人数は男子が17名、女子が28名の計45名で、大型バス1台で行かせていただきます。1日目は簡単なゲームやキャンプファイヤー、2日目はお昼に野外炊飯をして、終了後に体育館でのボール遊びを予定しております。真夏の暑い時期でございますので、熱中症等には十分気をつけ、また、事故のないように行ってまいりたいと思っております。私からは以上でございます。

**教育長** ありがとうございました。続いて、生涯学習課長、何かございますか。

**生涯学習課長** 私からは、公民館事業の報告をさせていただきます。来月８月の２４日日曜日ですが、町内の小学生を対象にお仕事チャレンジデーを開催いたします。内容につきましては昨年とほぼ同じで、全部で８種類のお仕事を設定しております。こちらにつきましては広報やホームページの方でも周知をしております。ちょっと暑い時期ではありますが、お時間があるようでしたら、一度見学にお越しいただけたらと思います。私の方からは以上です。

**教育長** ありがとうございました。教育総務課長何かありますか。

**教育総務課長** ありません、はい。

**教育長** それではこれで終わらせていただきます。